

学校教育目標： 『心 知 体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成』

益田市立益田中学校

目指す生徒像： 『明るく さわやかに 前向きに たくましく』 ・相手の気持ちも考え、お互いを支え合う生徒 ・落ち着いて考え、的確な判断ができる生徒 ・粘り強く、最後までやり通す生徒

重点項目	短期目標	達成のための方策	評価の実際（年末アンケートによる）					肯定的な回答の割合%	自己評価		学校関係者評価	
			評価項目（評価対象）						評価*1	課題への対策案・改善案	評価*2	評価者の意見
1 学力の育成	1)学習意欲の向上 2)学習習慣の醸成	①学習課題、授業展開、学習形態等を工夫し、分かる・楽しい・自己実現が図られる授業を実践する ②上の①の実践のために、計画的な校内研修の推進と内容の充実を図る ③学習方法や家庭学習の仕方などについて計画的に指導したり、相談ののりたりする	先生は分かりやすい・楽しい授業になるよう努力していると思う* (生)	87	80	83		C				
			授業や学校の学習指導に満足している* (保)	77	80		77					
			生徒が学習に対して意欲的になるよう、授業改善に努めている* (職)	93	90		96					
			自分なりの学習方法を工夫しようとした (生)	72	75	80						
			子どもは、自分なりの学習計画や学習方法で家庭学習をしているように感じる (保)	61	70		56					
生徒に学習習慣が身に付くような指導・支援を行っている (職)	78	80		71								
2 豊かな人間性の醸成	3)他者を認め、関わり合う態度の育成 4)より高い目標に挑戦しようとする態度の育成	①お互いの違いやよさを認め合える活動を工夫、設定する ②主体的に考えたり、自己決定を促したりする指導を工夫する ③道徳や学級活動の充実を図り、自らの生き方を考えさせたり、生活を振り返らせたりする	お互いに協力し、励まし合い、助け合いながら学校生活を送ることができたと思う (生) / 送っていると感じる (保)	85/87	85	83	90	A	・各活動での頑張りへの肯定的な評価とその頑張りや学校生活につなげていくような言葉かけ ・その時その場での指導の徹底 ・校内ルールづくりや見直しなど、生徒自身で考えたり決定したりする機会を活用した主体性の育成 ・生徒会活動促進に対する支援 ・他者理解、自己開示、リーダー養成、イベント企画等「仲間づくり・集団づくり」を意図した学級活動 ・豊かな人間性を育むための教科・領域横断的なカリキュラムマネジメントの確立	A	・生徒は互いに協力しながら学校生活を送ることができていると考える。 ・生徒同士の関わり合いに職員が適切に関わっていることが感じられる。 ・生徒会活動やボランティア活動に関する情報発信が地域にいわたるとさらに良い。 ・ここ数年で最も学校や生徒の動きや思いが外に向けてわかりやすく伝わった。 ・今後も生徒の気づきや発想、想いが大切にされていくことを願う。	
			友達のよさを発見できたと思う (生) / 発見できていると感じる (保)	92/87	80	93	91					
			行動したり実行したりするときに、自分で考え、決定するようになっていると思う (生)	80	80	83						
			生徒同士が関わり合う場面や自己決定する場面を意図的に設定している (職)	96	85		96					
			道徳の時間にしっかりと考えたり、学活の時間などで自分自身を振り返ったりすることができたと思う (生)	80	80	79						
道徳や学級活動等を通して、生徒の生き方を考えさせたり成長を実感させたりする指導を行っている (職)	-	80		89								
3 生活習慣の醸成	5)望ましい生活習慣の醸成 6)健康や安全に留意し、心身を鍛える態度の育成	①自分の健康に留意し、最適な行動が判断できるよう、指導を工夫する ②身の回りの安全に気をつけた行動ができるよう、指導を工夫する ③上の①②について、家庭との連携を図る	生活リズムを整え、健康に気をつけて生活している (生) / 生活していると感じる (保)	81/-	75	78	71	B	・メディアについての生徒の状況やレッツチャレンジの取組に関する情報発信の継続による、保護者の協力意識の高揚と外部機関との連携 ・通学路の実態把握 ・自転車の交通量が多い箇所での重点的な安全指導 ・保健室の利用の方法や目的の周知徹底（学年部や授業者の協力）	A	・交通安全等について地域に協力してほしいことを具体的に知らせてほしい。 （そのニーズがわかれば、学校や生徒のために地域が協力できることはある） ・教職員は一生懸命に指導しているのがわかる。	
			交通安全に気をつけて登下校している (生) / 登下校していると感じる (保)	92/-	80	94	95					
			メディアとの関わり方について、子どもと話し合いをしている (保)	72	75		76					
			生徒自身が健康安全に気をつけて生活する意識を高めるような指導をしている (職)	-	85		79					
4 教育活動を支えるための基盤づくり	7)人権感覚を高め、互いに認め合う支持的風土の醸成	①生徒一人ひとりを大切にし、適切な言葉かけを行う ②生徒の自立を促すための適切な支援を行う	先生は自分のことを大切にしてくれていると思う (生)	84	80	82		B	・生徒が相談しやすいような相談体制や教員の動きの工夫 ・教職員の教育相談研修 ・教員同士も相談しやすい職員室の雰囲気の醸成 ・プラスの言葉かけの継続	A	・教職員の生徒に対する声かけが増えて子どもが素直に喜んでいて感じる。 ・プラスの言葉かけが効果を発揮してきていると考える。 ・「何でも気軽に相談してよい」雰囲気や環境づくりに期待する。 ・すべての生徒に対する公平な声かけが必要である。	
			自分のことについて先生に相談しやすいと思う (生) / 子どものことについて学校に相談しやすいと感じる (保)	-/73	75	63	77					
	8)組織的な学校運営の推進	①「報告・連絡・相談」を密にし、組織的・協働的な対応を図る	自分の立場や役割を自覚し、積極的に他の職員との連携に努めている (職)	87	85		97	B	・職員の情報共有や協働体制の確立と雰囲気の醸成を図るための可視化の工夫や声かけの継続 ・教職員評価システムの適正な運用 ・職員からの提言を学校組織マネジメントへ反映 ・コロナ禍と併せた抜本的・包括的な視点と未来志向の視点での業務の見直し（学校目標達成に向けて不可欠な業務であるのかの点検を含めて）	A	・目標の可視化や声かけは効果的なのであれば継続すべきと考える。 ・業務改善や働き方改革は学校の職場内だけの課題解決は難しい面も含まれていると思う。	
			研究計画に基づいた自主的、実践的な研修に全職員で取り組んでいる (職)	68	80		87					
			生徒理解を深め、適切な支援について共通理解を図るよう努めている (職)	90	85		100					
9)安全で学びやすい環境づくり	①安全な施設管理、校舎内外の美化・整備を行う	学校の環境は整備されていると思う (保)	81	80		87	A	・定期的な保守点検や日常的な環境整備 ・必要に応じた、市の施設係への報告と修繕依頼	A	・自己評価と改善計画で妥当である。		
		定期的な安全点検を行い、必要な予算を確保しながら営繕・美化に努めている (職)	97	85		94						
10)開かれた学校づくりの推進	①定期的な情報発信を行う ②家庭・地域・関係機関等と連携し、理解や協力を得るよう努める	学校は積極的な情報発信に取り組んでいると思う (保)	76	80		77	B	・現在行っている情報発信の在り方についての更なる検証（マチコミメールやタブレットの活用も含めて）	A	・自己評価と改善計画で妥当である。 ・コロナの影響で学校の状況を直に見る機会が少なかった。		
		行事活動の公開、懇談会、便りの発行、メール配信などを通して情報発信に努めている (職)	94	85		93						

*(生)=生徒によるアンケート調査、(保)=保護者によるアンケート調査、(職)=本校職員によるアンケート調査、による

(*1) 自己評価結果=目標に対する達成度、評価項目を総括したもの(A=達成、B=概ね達成、C=達成不十分) (*2) 学校関係者評価=自己評価の妥当性(A=妥当、B=妥当でない)